



## 平成24年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年5月11日

上場会社名 株式会社サニーサイドアップ 上場取引所 大  
 コード番号 2180 URL <http://www.ssu.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 次原 悦子  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 グループ管理本部 本部長 (氏名) 川岸 将一 TEL 03-6894-3233  
 四半期報告書提出予定日 平成24年5月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

百万円未満切捨て

### 1. 平成24年6月期第3四半期の連結業績（平成23年7月1日～平成24年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第3四半期	7,601	34.6	350	49.5	372	52.2	263	97.3
23年6月期第3四半期	5,646	37.8	234	—	244	—	133	—

(注) 包括利益 24年6月期第3四半期 276百万円 (107.6%) 23年6月期第3四半期 133百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第3四半期	311.19	310.85
23年6月期第3四半期	163.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年6月期第3四半期	4,469	1,522	33.1
23年6月期	3,932	1,252	31.2

(参考) 自己資本 24年6月期第3四半期 1,478百万円 23年6月期 1,225百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	0.00	—	15.00	15.00
24年6月期	—	0.00	—	—	—
24年6月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成24年6月期の連結業績予想（平成23年7月1日～平成24年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,104	17.6	223	23.4	244	19.7	202	192.6	238.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有  
（注）詳細は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「サマリー情報（その他）に関する事項」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年6月期3Q	847,600株	23年6月期	847,600株
② 期末自己株式数	24年6月期3Q	一株	23年6月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年6月期3Q	847,600株	23年6月期3Q	818,078株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の当社グループは、新たな経営ビジョンとして中期経営計画で掲げた「創造型PR商社」への事業構造転換に向け、既存事業だけでなく新規プロジェクトの開発にも積極的に取り組んでおります。特に当第3四半期連結累計期間においては、今夏に開催予定のロンドン五輪を好機と捉え、創業来スポーツビジネスに取り組んできた当社ならではのサービスをクライアントに提供すべく積極的に営業活動を行った結果、すでに五輪に向けた大型案件を数件進行させております。

創造型の新規ビジネス領域では、「bills事業」においてはレストラン「bills表参道」の4月18日オープンに向けたPR活動が既存店舗の来客を促進するなどして計画以上に業績が推移。さらに、東京スカイツリータウン5月22日開業に合わせて同施設の商業施設「東京ソラマチ」内で実施する新事業「レンタルサイクルカフェ事業」の準備を遂行。さらにはスポーツビジネス研修の開発・実施、母親をターゲットとした新規ウェブサービス「ママゴト」は順調にセールスが進むなど、新たな収益モデル開発に向けた活動を展開しております。

既存の受託型ビジネスにおいては、厳しい市場環境にありながらも、基幹事業であるコミュニケーション事業のさらなる強化を行い、ワンストップによるコミュニケーションサービスの提供、また、スポット案件のニーズを的確に捉えた企画・実施に努めております。

その結果、売上高7,601百万円（前年同期比34.6%増）、営業利益350百万円（同49.5%増）、経常利益372百万円（同52.2%増）、四半期純利益は263百万円（同97.3%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①コミュニケーション事業

コミュニケーションサービスのワンストップ提供をすべく、ソリューションの全社共有化を行うなど組織連携を強化し、PR、SP、イベント制作、ネットプロモーションの統合提案を実施。併せて、短・中期集中型のクライアントニーズに応じて新規クライアントのスポット案件を期首計画以上に獲得。さらには大手コンビニチェーンの大型店頭販促を受注。また、企業とママとのコミュニケーションを実現するウェブサービス「ママゴト」のセールスは順調に推移しております。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,558百万円（前年同期比31.4%増）となりました。

#### ②スポーツ事業

当社が手掛けるスポーツビジネスにおいて、従来の「アスリートマネジメント」領域の収益柱である肖像権契約が順調に推移したことに加え、現在注力している「スポーツプロモーション」領域である大型スポーツイベントのPR・プロモーションやアメリカでのスポーツビジネス研修、また、サッカー日本女子代表選手をはじめとするキャスティングを継続的に実施しております。さらに、今夏開催されるロンドン五輪に向けては、当社のスポーツ事業に関するノウハウを活かして営業活動を強化しており、すでに五輪に関連する企業のプロモーションを堅調に受注しております。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,070百万円（前年同期比45.2%増）となりました。

#### ③開発事業

当社グループの開発事業は、「創造型PR商社」のビジョンに基づき、当社グループ独自の事業を創造することを主とした事業展開を行っており、当第3四半期連結累計期間の売上高は54百万円（前年同期比70.7%減）となりました。

#### ④SP・MD事業

大手広告代理店への営業深耕の結果として、テレビCMで頻繁にオンエアされ人気を博しているプレミアムアイテムの大型受注製作が順調に推移しました。またWIST INTERNATIONAL LIMITEDグループにおいてはグループ外部への営業強化が結実しており、大手玩具メーカーからのOEM受託等は引き続き堅調であります。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,893百万円（前年同期比31.4%増）となりました。

#### ⑤bills事業

当社所属スペシャリスト、ビル・グレンジャー (Bill Granger) を活用した七里ヶ浜、横浜赤レンガ倉庫、お台場、表参道でのレストラン「bills」の運営を行っており、継続的に店舗PR、ブランディングを推進しております。国内4店舗目となる表参道店舗オープンに向けたPR活動が新店舗オープンの期待感醸成とともに既存店舗の来客促進に貢献するなど、当初計画以上の売上で推移しております（表参道店舗は4月18日に東急プラザ原宿表参道開業とともに施設最上階にオープンしました）。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,022百万円（前年同期比90.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、4,469百万円（前連結会計年度末比537百万円増）となり、資産の内訳につきましては、流動資産が3,059百万円（同393百万円増）、固定資産が1,409百万円（同144百万円増）であります。また、負債合計は、2,946百万円（同266百万円増）となり、負債の内訳につきましては、流動負債が2,353百万円（同162百万円増）、固定負債が593百万円（同104百万円増）であります。純資産合計は、1,522百万円（同270百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想の修正につきましては、平成24年2月7日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」において修正を行っております。今後、当該連結業績予想に修正のある場合には速やかに開示してまいります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,035,462	671,081
受取手形及び売掛金	1,049,519	1,814,024
商品及び製品	1,150	861
未成業務支出金	224,573	157,352
原材料及び貯蔵品	6,129	13,742
前渡金	261,011	295,914
その他	94,525	113,847
貸倒引当金	△5,730	△6,994
流動資産合計	2,666,641	3,059,830
固定資産		
有形固定資産		
土地	520,818	520,818
その他(純額)	363,496	485,163
有形固定資産合計	884,315	1,005,982
無形固定資産		
のれん	17,464	14,799
その他	30,245	27,606
無形固定資産合計	47,710	42,405
投資その他の資産		
その他	359,479	387,216
貸倒引当金	△25,686	△25,695
投資その他の資産合計	333,793	361,521
固定資産合計	1,265,819	1,409,909
資産合計	3,932,460	4,469,740
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	657,719	901,206
短期借入金	739,003	902,183
1年内返済予定の長期借入金	171,363	170,232
未払法人税等	73,461	51,544
賞与引当金	—	4,957
その他	549,997	323,626
流動負債合計	2,191,544	2,353,749
固定負債		
長期借入金	377,021	437,206
資産除去債務	28,154	38,950
その他	83,680	116,997
固定負債合計	488,856	593,153
負債合計	2,680,400	2,946,903

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	430,720	430,720
資本剰余金	491,320	491,320
利益剰余金	303,922	554,975
株主資本合計	1,225,962	1,477,015
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	644	765
為替換算調整勘定	△1,307	245
その他の包括利益累計額合計	△662	1,010
少数株主持分	26,759	44,810
純資産合計	1,252,059	1,522,837
負債純資産合計	3,932,460	4,469,740

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成23年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)
売上高	5,646,568	7,601,904
売上原価	4,612,047	6,429,082
売上総利益	1,034,521	1,172,821
販売費及び一般管理費	800,077	822,256
営業利益	234,443	350,565
営業外収益		
受取利息	217	112
受取配当金	93	32
受取家賃	31,769	43,450
その他	12,223	6,015
営業外収益合計	44,303	49,610
営業外費用		
支払利息	11,052	11,324
売上債権売却損	9,633	—
賃貸費用	9,430	10,593
その他	3,924	5,878
営業外費用合計	34,039	27,797
経常利益	244,707	372,379
特別利益		
固定資産売却益	—	505
貸倒引当金戻入額	8,354	—
特別利益合計	8,354	505
特別損失		
固定資産除却損	12	44
固定資産売却損	76	527
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,456	—
特別損失合計	1,546	571
税金等調整前四半期純利益	251,515	372,313
法人税等	118,689	92,902
少数株主損益調整前四半期純利益	132,826	279,410
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△864	15,643
四半期純利益	133,690	263,766



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成23年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	132,826	279,410
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	490	120
為替換算調整勘定	△245	△3,310
その他の包括利益合計	244	△3,189
四半期包括利益	133,071	276,220
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	134,033	259,956
少数株主に係る四半期包括利益	△962	16,264

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年7月1日 至平成23年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	コミュニケ ーション 事業	スポーツ 事業	開発 事業	S P ・ M D 事業	bills 事業	計				
売上高										
外部顧客 への売上 高	1,186,315	737,282	185,360	2,962,268	536,684	5,607,911	38,656	5,646,568	—	5,646,568
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	8,800	3,191	36,154	11,948	24	60,118	461	60,580	△60,580	—
計	1,195,115	740,473	221,515	2,974,216	536,709	5,668,030	39,118	5,707,148	△60,580	5,646,568
セグメント利 益又は損失 (△)	252,522	70,386	14,664	222,413	15,029	575,017	△22,064	552,953	△318,509	234,443

(注) 1. 「その他」の区分は、当社が運営する飲食事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	2,344
全社費用(注)	△320,936
棚卸資産の調整額	82
合計	△318,509

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成23年7月1日 至平成24年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	コミュニケ ーション 事業	スポーツ 事業	開発 事業	S P・MD 事業	bills 事業	計				
売上高										
外部顧客 への売上 高	1,558,251	1,070,705	54,354	3,893,459	1,022,047	7,598,818	3,085	7,601,904	—	7,601,904
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	8,500	—	—	109,480	228	118,209	7	118,216	△118,216	—
計	1,566,751	1,070,705	54,354	4,002,939	1,022,276	7,717,027	3,093	7,720,120	△118,216	7,601,904
セグメント利 益又は損失 (△)	299,774	81,505	6,521	206,864	55,375	650,042	△1,654	648,387	△297,822	350,565

(注) 1. 「その他」の区分は、当社が運営する飲食事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	7,201
全社費用(注)	△305,024
合計	△297,822

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。